

Japanese Utility Model Laid-Open Publication No. 61-188974

Laid-Open Date: November 25, 1986

Japanese Utility Model Application No. 60-71495

Filing Date : May 16, 1985

Inventor : Kozo Yoshida

Applicant: Sanyo Sukotto Kabushiki Kaisha

## **PAPER TOWEL CABINET**

A paper towel cabinet of this invention includes a storage room 1 that is formed to have an outline of a parallelepiped tilted forward and a bring-out opening 3 formed in a face 2 tilted forward, as exemplified in Figs. 1 and 2. Paper towels 4 are stacked and stored in the storage room 1. It is preferable that the paper towels 4 be folded in a so-called C-folded shape for convenience of bringing the paper towel 4 out, as shown in the drawings.

The cabinet of this invention can be formed from any of various materials such as plastic, metal, wood, and cardboard. The cabinet is usually placed on an appropriate horizontal plane in a bathroom or kitchen, e.g., on a table near a mirror at a position near a wall. For convenience of placing the cabinet and from a viewpoint of design, it is desirable to provide a seat 5 that has a shape obtained by extending a bottom plate of the storage room forward, as shown in the drawings. It is also desirable to form a vertical edge 6 by extending a side plate of the storage room backward in such a manner that a back of the cabinet is in contact with the wall and to provide a top plate 7 on the extended side plate. A length L of the seat 5 is appropriately chosen in accordance with an angle of forward tilting of the storage room 1 (an angle in a range from 30 to 85 degrees is usually practical) so as to make the cabinet stable. Although an upper part of the storage room 1 is opened in the drawings, a lid can be attached, if necessary.

# 公開実用 昭和61-188974

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-188974

⑬ Int. Cl. 4

B 65 D 83/08

識別記号

庁内整理番号

G-7912-3E

⑭ 公開 昭和61年(1986)11月25日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 紙タオルキヤビネット

⑯ 実 願 昭60-71495

⑰ 出 願 昭60(1985)5月16日

⑱ 考 案 者 吉 田 公 三 横浜市港南区港南台5-1-2-401

⑲ 出 願 人 山陽スコット株式会社 東京都千代田区永田町2丁目14番2号 山王グランドビル

⑳ 代 理 人 弁理士 小田島 平吉 外1名

## 明 細 書

### 1. 考案の名称

紙タオルキヤビネット

### 2. 実用新案登録請求の範囲

前傾した平行六面体の輪郭に形成された紙タオル収納室及び該前傾した面に設けられた紙タオル取出口から成ることを特徴とする紙タオルキヤビネット。

### 3. 考案の詳細な説明

従来の紙タオルキヤビネットは、その殆んどが壁掛け式で、所謂フールドで積層された紙タオルを直方体の輪郭に形成された室に収納して、必要に応じて下面に設けられたスリット状の取出口から引き出すという型式のものであつた。しかし、この型式のキヤビネットは、紙タオルを引き出す際に摩擦のため若干の力を必要とするので、力が不均等な場合や手が濡れている場合などには紙タオルが破れ易いという欠点があり、しかも、取付けのために壁面を傷つけなければならないという不都合もあつた。



また、最も簡便な手段として、紙タオルをただ単に積み重ねて適当な台の上や容器の中に置き、必要に応じて上から順に使用するという用法も、日常的に見受けられる。しかし、このような使用法では、濡れた手で最上層の紙タオルをつまんだときに、掌のために次層以下の紙タオルを濡らしてしまいおそれがあり、衛生上好ましくない。

本考案は、上記のような諸欠点のない紙タオルキャビネットを提供する。

本考案の紙タオルキャビネットは、第1図及び第2図に例示するように、前傾した平行六面体の輪郭に形成された収納室1及び該前傾した面2に設けられた取出口3から成り、収納室1には紙タオル4が積層して収納されている。紙タオル4は、取出しの便宜上、図示のように所謂Cホルドに折りたたまれたものが好ましい。

本考案のキャビネットは、プラスチック、金属、木材、厚紙などのような種々の材料からつくることができ、洗面所や台所の適当な水平面の上に、例えば鏡の傍の台の上に、通常、達ぎわに寄せて、



載置される。この点の便宜を考慮して、また、デザインの見地からも、図示のように、収納室の底板を前方へ延長した形の座板 5 を設け、また、背部が壁面に接するように収納室の側板を後方へ延長して垂直稜 6 を形成すると共に延長された該側板の上に天板 7 を設けることが望ましい。座板 5 の長さ  $L$  は、収納室 1 の前傾角度（通常  $30 \sim 85$  度が実用的である）の大小に対応して、キャビネットの安定が得られるように適当に選ばれる。尚、図では収納室 1 の上方が開放されているが、必要な場合には蓋を取付けることができる。

第 1 図に示すキャビネットから収納されている紙タオルを取出すには、取出口から或いは開放された上方から手を挿し入れて最上層の紙タオル 4 を指でつまみ（C ホールドの場合には後方へ向けて折り曲げられている紙端をつまむことが好ましい）、図中に矢印で示すように手前へ引くだけでよい。収納室 1 が前傾しており、従つて紙タオル 4 が前傾して積層されていて、上層に位置する紙タオルほど前方に突出しているので、濡れた指で



最上層の紙タオルをつまんでも、等によつて次層以下の紙タオルが濡れることはない。しかも、紙タオル4はただ単に積み重ねられているにすぎず、且つ、取出口3は十分に大きくとることができるので、紙タオルの引出しに際して力を全く必要とせず、従つて紙タオルに破損を生ずることもない。

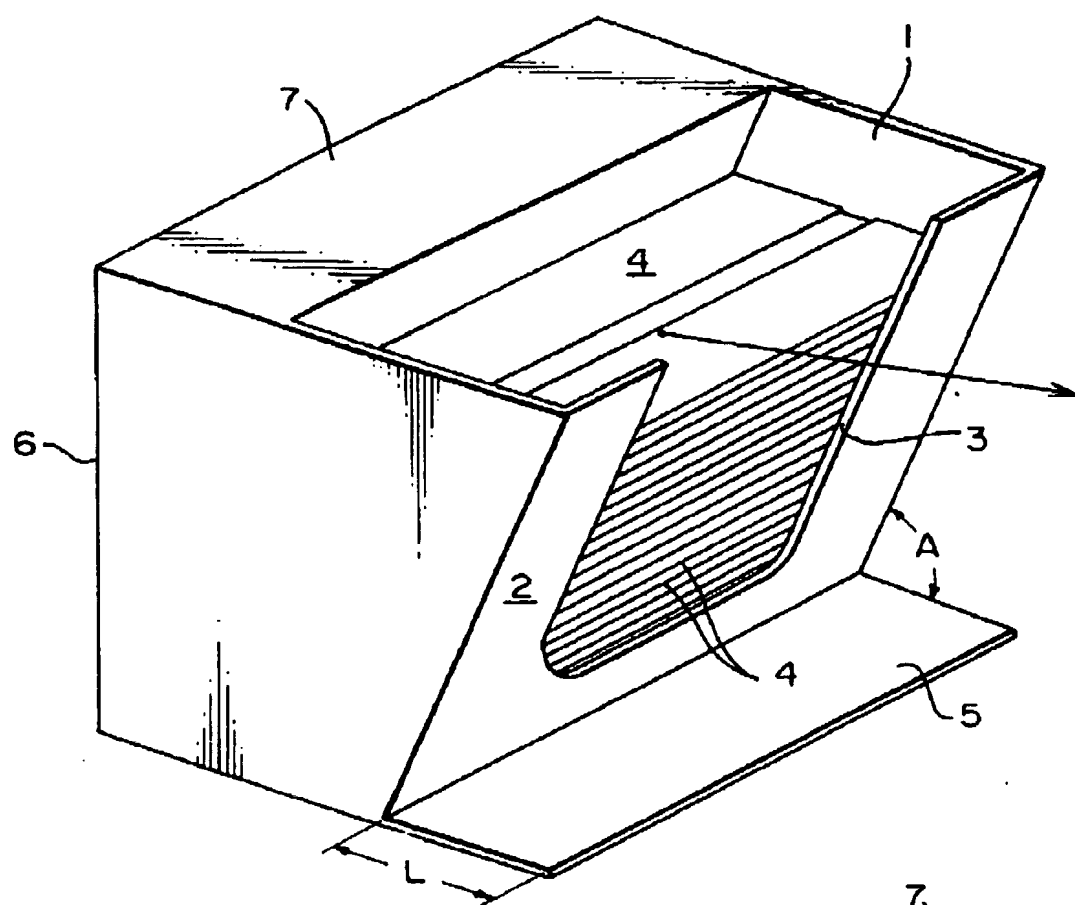
本考案のキャビネットでは、取出口3が前面に開口していて、収納されている紙タオル4を常に目視することができるので、紙タオルの補給を忘れることがなく、また、その補給も収納室1の上方から迅速簡単に行なうことができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

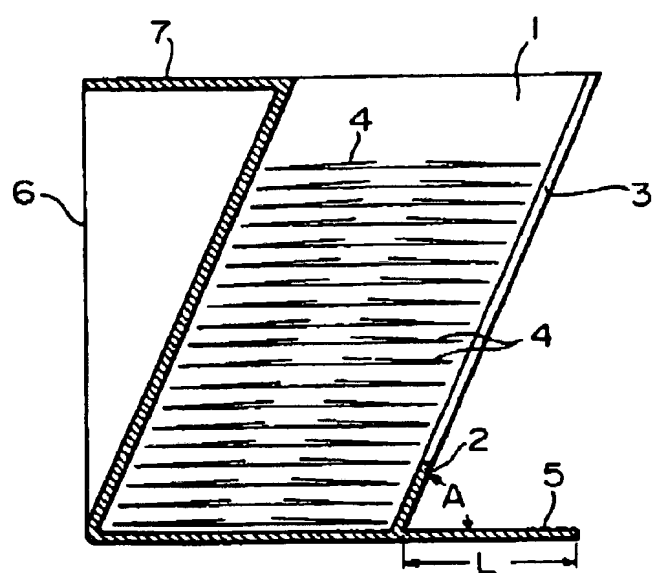
第1図は本考案に係る紙タオルキャビネットの一実施態様を例示する斜面図であり、第2図は第1図のキャビネットの中央部前後方向縦断面図である。

図において、1は紙タオル収納室、2は該収納室の前傾した前面、3は紙タオル取出口、4は紙タオル、5は座板、6は垂直稜、7は天板、 $\alpha$ は収納室1の前傾角度、 $L$ は座板5の長さである。





第 一 圖



第2図